

第8回射水市きらりカンパニー顕彰事業の表彰式が14日、同市の第一イン新湊で開かれる。大賞部門は金属切断用チップソー製造メーカーの寺島研磨工業(同市津幡江・新湊、寺島実社長)、創業5年未満のルーキー賞に

は通信サービス業の勇気の花(同市中央町・同、魚敬丈社長)がそれぞれ選ばれた。射水商工会議所と市商工会で組織する市商工協議会主催、市と市内金融協会、射水ケーブルネットワーク、北日本新聞社後援。

## 第8回射水市きらりカンパニー顕彰 きょう表彰

# 研磨業からメーカーへ

## 大賞 寺島研磨工業

チップソーは先端に「チップ」と呼ばれる超硬刃を付けた丸い形状の「こぎり(ソー)」を回転させ、材料を切断する工具。木材や樹脂の加工だけでなく、近年は炭素鋼やステンレスといった金属加工での用途が拡大している。

寺島研磨工業は使用につれて摩耗が進んだ金属切断用チ



寺島実社長

### 会社メモ

1978年に「寺島帯鋸加工所」として創業。94年の法人化後、現社名に改めた。金属切断用チップソーの再研磨に加え、自社開発した長寿命チップソーを製造する。タイに現地法人・ソーケンマ社を持つ。従業員20人。



ップソーの切れ味を復活させる再研磨事業に加え、近年は新品の刃を製造するメーカー

として成長を遂げている。新湊地区はかつて国内屈指の北洋材集積地として知られ、同社の主力も丸太切断用の帯鋸(バンドソー)の再研磨だった。だが、ロシアの原

本輸出関税の大幅な引き上げにより同地区の製材業が縮小。経営環境の変化に対応すべく、金属切断用チップソー分野へ本格的に乗り出した。当時、形状が複雑な金属加工用チップソーは使い捨てが常識だった。だが、同社は帯鋸の研磨で培ったノウハウを生かし再研磨技術を確立。「新品以上の切れ味になる」と評判を呼び、タイにも再研磨事業の現地法人を設立した。

2007年には新刃の自社製造にも参入。メーカーとしては最後発だが、優れた強度と耐久性を持つ同社の製品は国内だけでなくアジアや欧州からも引き合いが相次ぐ。生産性向上にも積極的だ。工場にはロボットなど自動化設備を投入し、大半の設備は夜間に無人運転している。

寺島実社長(49)は「規模は小さいが品質世界一を目指す。より良い製品を追求し続けたい」と話している。

整然と並べられた金属加工用チップソーを確認する従業員。奥には新刃の生産や再研磨用の自動化設備が並ぶ。射水市津幡江

## 地元密着 ITサポート

### ルーキー賞

### 勇気の花

地元密着のITサポートというコンセプトを掲げ、自治体や大手企業のインフラ整備から、ちょっとしたパソコンの困りごと相談まで幅広く事業を展開する。

強みは、顧客のトラブルを速やかに解決するフットワークの軽さだ。得意分野が異なる社員がそれぞれのスキルを

